

滋賀県レイカディア大学 第36期 学生募集

問 (福) 滋賀県社会福祉協議会 (☎077-567-3901)

滋賀県レイカディア大学とは自ら学び、新しい知識と教養、技術を身につけ、地域の担い手となるための生涯学習の場です。

【対象】 60歳以上(平成25年10月1日現在)で地域の担い手としての活動をめざす人

【出願手続】 7月24日(水)までに入学願書に必要事項を記入のうえ、下記まで郵送してください。

【内容】 「人間理解」、「郷土理解」、などの必修講座と「園芸学科」、「健康づくり学科」などの選択講座

※募集要項および入学願書は高齢福祉介護課、北部振興局・各支所福祉生活課、各公民館等で配付しています。

【開設者】 (福) 滋賀県社会福祉協議会

問合せ・願書提出先

滋賀県レイカディア大学草津校(本部)
〒525-0072草津市笠山7-8-138
(県立長寿社会福祉センター内)
☎077-567-3901

【学習期間】 10月から平成27年9月までの2年間

【授業料】 前期25,000円後期25,000円
(教材費の他、必要経費は自己負担)

情報ひろば

市民の皆さんのサークル・団体が行う催しを掲載します。
掲載希望の人は、掲載希望号の1か月前までに市民広報室 (☎65-6504) までご連絡ください。

催し・行事

◆姉川ダム夏のイベント

山の樹木ときれいなダム湖を眺に来ませんか! 溪流魚の魚つかみ、水鉄砲づくり、猪鍋もあります。

【とき】 7月13日(土) 9時30分～11時30分

【ところ】 姉川ダム管理事務所 (米原市曲谷)

【対象】 小学生とその保護者

【定員】 30人 (申込み多数の場合抽選)

【参加費】 無料

【申込み】 7月5日(金)17時までに電話で下記まで

問 姉川ダム管理事務所 (☎59-0061)

◆きゃんせ土曜日

【とき】 7月13日(土)11時～13時

【ところ】 長浜地方卸売市場 (田村町) 福引抽選会、特売セール、

【内容】 100円・300円・500円均一コーナー、うどん・そば・おにぎり・いなり寿司コーナー

問 長浜地方卸売市場 (☎63-4000)

◆市立長浜病院 音楽療法院内コンサート

市立長浜病院は「音楽のある病院」として、患者さんの心身機能の回復と癒

しの一助となるよう音楽を聞く機会を定期的に設けています。当日は、音楽療法の効果や家庭などでの取り入れ方を紹介し、同志社女子大学の学生らがコーラスを披露します。

【とき】 7月19日(金) 15時～16時30分

【ところ】 市立長浜病院本館 2階講堂 (大戌亥町)

【対象】 患者さんや家族、音楽療法に関心のある人、どなたでも参加できます。

※参加費無料・申込不要

問 市立長浜病院経営企画課 (☎68-2300代)

◆第6回フリーマーケットinこほく

夏のフリマでお宝さがしをしませんか? 模擬店・子ども映画会もあります。

【とき】 7月20日(土)10時～13時

【ところ】 湖北文化ホール(湖北町速水) 湖北公民館 (☎78-1287)

※水曜・祝日休館

◆バーベキュー大会

【とき】 7月20日(土)11時～14時頃 ※雨天時は参加者に連絡します。

【ところ】 あざいまちづくり商店前駐車場 (内保町)

【対象】 独身の男性・女性

【参加費】 2,000円 (食材費込)

【申込み】 7月15日(月)までに電話で下記まで

問 あざいまちづくり商店 (☎74-1261)

◆秘宝「キジク」を守り抜け! ~勇者!!湖北っ子マイスターへの道~

次代を担う子ども達に湖北の素晴らしさを継承し、自立心を育むことを目的に開催する1泊2日の冒険イベントです。

【とき】 7月27日(土)～28日(日) 12時～受付開始 雨天決行

【集場所】 下山田公民館 (湖北町下山田)

【対象】 小学3～6年生

【定員】 108人 (先着順)

【参加費】 子ども2,500円 保護者500円 (2日目の昼食代)

※必ず保護者が参加してください。

【申込み】 申込用紙に記入し、7月19日(金)17時までに直接またはFAXで下記まで

詳しくは長浜青年会議所ホームページ (<http://www.nagahama-jc.jp>) をご覧ください。

問 長浜青年会議所 (長浜商工会議所内) (☎62-2500)

◆第4回長浜市民水泳大会

【とき】 7月28日(日)9時～受付開始

【ところ】 長浜市民プール (港町)

【対象】 小学生～成人

(定期的には水泳の練習をしている人)

【参加費】 無料

【エントリー】 当日9時に会場の受付まで

問 長浜水泳協会 森岡 (☎72-2580)



▲金銅十一面観音三尊像懸仏(表面)

湖北地方には数多くの観音像が伝えられ、「観音の里」と称される旧伊香郡域には、70の寺社に80体を数え、市全体では約130体にのぼります。しかし、そのほとんどは大きな寺社にあるのではなく、集落の小さなお堂で、地域住民の手によって守られてきたことに特色があります。

木之本町石道には、奈良時代より仏教文化が開いた己高山の有力寺院の一つ、石道寺があります。平安時代11世紀の作)は、「石道の観音さん」と呼ばれ親しまれ、子授けに効験があるとされて、古くから信仰を集めてきました。また、湖北の観音を題材にした小説『星と祭』の作者、故井上靖氏が、渡岸寺観音堂(向源寺)の国宝十一面観音像とともに、こよなく愛した像としてもよく知られています。

問 高月観音の里歴史民俗資料館 (☎8512273)



▲金銅十一面観音三尊像懸仏(裏面)

石道寺は神亀3年(726)延法によって開かれ、行基が仏像を刻んで堂宇を建立。その後焼失し、最澄が十一面・持国天・多聞天を彫刻して石道寺と名付けたとい、己高山仏教の中心寺院として重きをなした寺です。

この石道寺に、今から約650年前の南北朝時代に奉納されたのが、この春、市の指定文化財となった金銅十一面観音三尊像懸仏です。懸仏とは、社寺の長押や壁面に懸け、礼拝の対象にしたものです。もとは、神の依代として作られた鏡に、御正体としての神像や本地垂迹説による仏像などをあらわしたものです。その形態から、鏡面に毛彫・線刻・描画したものを鏡像と呼び、鏡面や鏡地板に別製の薄肉または厚肉の神像や仏像を取り付けたものを懸仏と呼んでいます。

石道寺に奉納された懸仏は、直径55・3cmの大型で極めて装飾性豊かなものです。裏面の墨書銘から、応安元年(1368)に秦守弘なる人物が、「息災延命・家門繁昌・五穀豊饒・天下泰平」などを祈願して、石道寺に奉納したことがわかります。マキ材の裏板に薄銅板を打ち、鑄銅仏の十一面観音を中尊として、左右に不動明王、毘沙門天の二尊を配する、いわゆる天台宗横川形式の遺品です。三尊とも台座と透彫りの光背が付属し、下には透彫り波文があらわされています。さらに中尊には、瑠璃付天蓋で飾られ、火舎香炉と六器を置く前卓が配されています。外区には、飾銀と三鈷杵の金具をめぐらし、左右上部には懸垂用として彩色を施した獅嚙座を取り付けています。すぐれた美術工芸品としてのみならず、制作年代・願主・造立趣旨等も判明する、中世の貴重な歴史資料といえます。